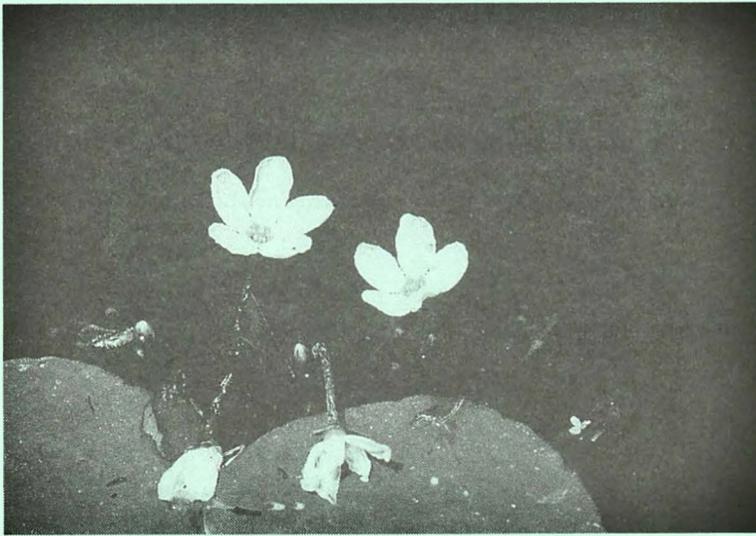


ISSN 0288-139X

水草研究会会報

45号 (1991年12月)



Bulletin of Water Plant Society, Japan

No. 45 (Dec. 1991)

水草研究会

— 目 次 —

堀川恵理子・福原晴夫：新潟県におけるアオウキクサとコウキクサの分布と生態…………… 1

橋本 卓三：福山市松永地区（広島県）の溜池の水草……………10

相生 啓子：熱帯海草の特性……………17

大滝 末男：釧路湿原の湿原と周辺の4湖沼（達古武沼・
シラルトロ湖・塘路湖・春採湖）の水生植物……………23

外山 雅寛：北海道の湿地に見る希少植物数種について……………29

短報 南 敦：山口県周防部南部の若干の池沼、河川の水草（その2）……………31

星 一彰：福島県猪苗代湖のヨシ群落……………33

水草研究会第13回全国集会報告、他

〔表紙写真〕ハナガガブタ（バナナ・プラント）兵庫県加東郡吉川町

数年前から訪れている池に、昨年、見慣れない水草が忽然と出現した。ハナガガブタ *Nym-
phoides aquatica* である。アメリカ東部に自生する水草で、日本でもアクアリウム・プ
ラントとして栽培されているものである。誰かが投げ入れたものが生えてきたに違いない。
兵庫県の気候だと野外でも十分に越冬が可能で、今、2度目の冬を迎えようとしている。
広島県の溜池でボタンウキクサが繁茂したという報告を下田路子さんから寄稿いただいた
が（会報次号に掲載）、このような外来の水草を不用意に捨てる（あるいは故意に植える）
ことが、仮に、善意に基づいたものであっても、ときにどれほどの自然破壊につながるか、
もう一度考えて欲しいものだと思う。

（角野康郎）